

大阪大学
大学院情報科学研究科
平成32(2020)年度4月入学
博士前期課程 学生募集要項
(推薦入学特別選抜)

この募集要項は、平成32年4月入学博士前期課程に関する7つの入学試験のうちの○印に該当します。

	入学試験の名称
	平成32(2020)年度博士前期課程(一般選抜)
	平成32(2020)年度博士前期課程(社会人特別選抜(情報基礎数学専攻))
○	平成32(2020)年度博士前期課程(推薦入学特別選抜)
	平成32(2020)年度博士前期課程(学部3年次学生を対象とする特別選抜)
	平成32(2020)年度博士前期課程(外国人留学生対象特別選抜・8月)
	平成32(2020)年度博士前期課程(外国人留学生対象特別選抜・12月)
	平成32(2020)年度博士前期課程(インフォメーションテクノロジー-英語特別コース)

平成31年3月

【注意事項】

出願者は、出願前に、受入予定教員と入学後の研究計画等について相談し承認印をもらった後、志望する専攻の専攻長に必ず連絡をとってください。

教員連絡先は、情報科学研究科ホームページで調べてください。

<http://www.ist.osaka-u.ac.jp/japanese/introduction/organization.html>

1. 情報科学研究科教育目標等について

〔情報科学研究科教育目標〕

大阪大学は、「物事の本質を見極める学問と教育が大学の使命であり、この使命を果たすことで大学は社会に貢献していく」という理念のもと、「地域に生き世界に伸びる」をモットーに、次代の社会を支え、人類の理想の実現をはかる有能な人材を社会に輩出することを目標としています。

その目標を実現するため、学部および研究科ならびに全学的な教育組織において、

○高度な専門性と深い学識

○教養・デザイン力・国際性

を身につけた知識基盤社会のリーダーとなるべき人材の育成に取り組んでいます。

大阪大学の教育目標を受けて、情報科学研究科では、「我々人類が、豊かで充実した社会生活を営むためには、高度な情報社会の実現が必要不可欠であり、これを可能にする新しい技術や新しいシステムを生み出し、社会に変革をもたらすための学問が情報科学である」との理念に基づき、情報科学技術に関する深い学識を身につけ、当該分野を牽引し、新たな学術領域を開拓する技術者、研究者、および、教育者等を輩出することを目標としています。

情報科学技術分野や数学・生命科学などの関連分野、多様な応用分野において、博士前期課程では、

○当該分野に関わる広範な教養と高度な専門知識ならびに技能

○新しいシステムを構想して研究開発できるデザイン力

○国際的な視野を持って活動できるコミュニケーション力

○人と協働してプロジェクトを遂行できるマネジメント力

博士後期課程では、これらに加えて、

○当該分野において自ら設定した課題を探求できる研究能力

○世界的な視野で技術者・研究者を先導するリーダーシップ力

を身につけ、これらを駆使して高い倫理観をもって活躍できる人材の育成に取り組んでいます。

〔情報科学研究科学位授与の方針〕（ディプロマ・ポリシー）

大阪大学は、教育目標に定める人材を育成するため、所定の期間在学し、所属研究科において定める専門分野に関する高度な知識・技能ならびに教養・デザイン力・国際性を身につけ、所定の単位を修得し審査および試験に合格した学生に学位を授与します。

大阪大学のディプロマ・ポリシーのもとに、情報科学研究科の博士前期課程では、情報科学の学術領域を俯瞰し基礎的素養を涵養できる体系的なコースワークにより、以下にあげる要件を満たした学生に学位を授与します。

○所定の単位を修得した上で、専攻分野における研究能力や高度の専門性が求められる職業を担うための知識を身につけている

○必要な研究指導を受けて作成・提出された修士学位論文が明瞭かつ平明に記述され、専攻分野の発展に貢献する研究内容を含んでいて、当該分野に関する十分な学識を有している

情報科学研究科の博士後期課程では、情報科学の学術領域における高度な専門的知識を最先端の学識へと深化させる体系的なコースワークにより、以下にあげる要件を満たした学生に学位を授与します。

○情報科学の学術領域において、未知の事象や事物の発見、新しい理論の構築と展開、新しい技術、機器、手法、ならびにアルゴリズムの開発や発明と応用、新しい学問的概念の提出など、学理とその応用に関する重要な貢献を果たしている

○必要な研究指導を受けて作成・提出された博士学位論文が明瞭かつ平明に記述され、博士学位論文の学術内容を含む分野に関する十分な全般的知識を有している

○独立した研究者として研究を遂行できる学力を有し、当該論文の学術内容が社会に対して貢献できる

〔情報科学研究科教育課程編成・実施の方針〕（カリキュラム・ポリシー）

大阪大学は、学位授与の方針に掲げる高度な知識・技能などを修得させるために、専攻分野に関する科目、大学院横断教育科目および博士課程教育リーディングプログラム科目を体系的に編成し、講義、演習、実習等を適切に組合せた高度な授業を開講するとともに優れた研究指導を行います。

大阪大学のカリキュラム・ポリシーのもとに、情報科学研究科の博士前期課程では、情報科学の学術領域を俯瞰し基礎的素養を涵養できる体系的なコースワークのために、専攻ごとの専門性を獲得するための基礎科目のほかに、周辺の重要分野を網羅した境界横断的な科目を配置しています。また、分野横断型融合科目や、産業界などの外部から講師を招いて最新の技術動向をカバーする特別講義科目、国内外の企業や研究機関へのインターンシップ科目、プロジェクト型演習科目など実践力を育てる科目を配置することによって、高度技術者・研究者としての素養が身に付くとともに、社会の多様な要請に対応した幅広い知識を修得できます。このような教養・デザイン力・国際性を涵養する情報科学技術に係わる高度な授業を開講するとともに優れた研究指導を行います。

情報科学研究科の博士後期課程では、情報科学の学術領域における高度な専門的知識を最先端の学識へと深化させる体系的なコースワークのために、最先端の科学・技術を修得できる専門科目に加え、国内外の企業や研究機関等へのインターンシップ科目などを配置し、新しい学術的価値を生み出す能力を養います。また、それを活用して新しい社会的価値を創出できる人材の育成を行います。このような教養・デザイン力・国際性を涵養する情報科学技術に係わる高度な授業を開講するとともに優れた研究指導を行います。

単位認定に際しては、レポートや試験などを課し、一定の成績を修めた学生に対して単位を認定します。また、極めて優秀な成績を修めた学生は、教授会での審議によって修業期間を短縮して修了することも可能です。

〔情報科学研究科の入学受け入れの方針〕（アドミッション・ポリシー）

大阪大学は、教育目標に定める人材を育成するため、学部又は大学院の教育課程等における学修を通して、確かな基礎学力、専門分野における十分な知識および主体的に学ぶ態度を身につけ、自ら課題を発見し探求しようとする意欲に溢れる人を受け入れます。このような学生を適正に選抜するために、研究科・専攻等の募集単位ごとに、多様な選抜方法を実施します。

大阪大学のアドミッション・ポリシーのもとに、情報科学研究科の博士前期課程では、国内外を問わず、より高度な情報社会の実現を可能にする情報科学技術の確立と深化を担う意欲を持った学生を受け入れます。このため、理工系の学部で情報科学技術を学んできた人、情報科学技術の生物学や医学などへの応用や展開に興味を持つ人を受け入れます。さらに幅広く人材を求めするために、情報科学技術以外の分野を学んできた人も受け入れます。国内に限定することなく、海外からも秀でた学生を積極的に受け入れます。これらのために、学力試験、面接試験などによる多様な選抜試験を実施しています。

情報科学研究科の博士後期課程では、国内外を問わず、より高度な情報社会の実現のために情報科学の学術領域にイノベーションを創起する意欲を持った学生を受け入れます。このため、理工系などの研究科(博士前期課程・修士課程)で情報科学技術を学んできた人、情報科学技術の生物学や医学などへの応用や展開に興味を持つ人、既にこれらの研究科を修了し、社会のさまざまな分野で活躍しながら、情報科学の学術領域への貢献を強く願っている人を受け入れます。さらに幅広く人材を求めするために、情報科学以外の研究科等に在籍する人や、社会人で情報科学に関して勉学や研究に取り組む意欲がある人も受け入れます。国内に限定することなく、海外からも秀でた学生を積極的に受け入れます。これらのために、学力試験、面接試験などによる多様な選抜試験を実施しています。

○ 推薦入学特別選抜の趣旨

大阪大学大学院情報科学研究科では、研究能力に秀でた学生を入学させ、優れた研究者・技術者を育成するため、本研究科博士前期課程に推薦入学特別選抜制度を設けました。この制度は、他大学からの有能な学生を広くかつ積極的に受け入れることによる大学間交流の促進と学際的研究の促進をも目的としています。

2. 推薦入学特別選抜を実施する専攻及び募集人員

専攻名	募集人員
情報数理学専攻	若干名
コンピュータサイエンス専攻	若干名
情報システム工学専攻	若干名
情報ネットワーク学専攻	若干名
マルチメディア工学専攻	若干名
バイオ情報工学専攻	若干名

3. 出願資格

情報科学技術系以外の学部などに在籍（但し、バイオ情報工学専攻の2講座（代謝情報工学講座、バイオ情報計測学講座）へ所属を希望する者にあつては、生物学・生物工学系以外の学部などに在籍）し、学業・人物共に特に優れ、かつ、合格した場合は必ず入学することを確約できる者で、次のいずれかに該当する者となります。

- (1) 我が国の大学又は専門職大学を卒業した者及び平成32年3月31日までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法（昭和22年法律第26号）第104条第7項の規定により大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び平成32年3月31日までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び平成32年3月31日までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び平成32年3月31日までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学（専門職大学に相当する外国の大学も含む。以下同じ。）の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であつて、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び平成32年3月31日までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であつて前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者又は平成32年3月31日までに授与される見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成32年3月31日までに修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年2月7日文部省告示第5号）
- (9) 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者で、本研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認められたもの
- (10) 短期大学、高等専門学校、各種学校等の卒業者やその他の教育施設の修了者で平成32年3月31日までに22歳に達する者で、かつ、本研究科において実施する個別の出願資格審査により大学又は専門職大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められたもの

出願資格を満たすか否かは、配属を希望する講座の受入予定教員にお問い合わせください。

教員連絡先は情報科学研究科ホームページで調べてください。

<http://www.ist.osaka-u.ac.jp/japanese/introduction/organization.html>

4. 出願資格審査

- (1) 出願資格(9)又は(10)により出願しようとする者は、事前に出願資格審査を受ける必要があります。**出願資格**を認められた者のみが願書を提出できます。
- (2) 出願資格審査で申請書類を提出する前に、受入予定教員と入学後の研究計画等について相談し承認印をもらった後、志望する専攻の専攻長に必ず連絡をとってください。
教員連絡先は情報科学研究科ホームページで調べてください。
<http://www.ist.osaka-u.ac.jp/japanese/introduction/organization.html>

(3) 出願資格審査の申請

申請書類は郵送してください。簡易書留郵便を利用し、申請書類等を一括して封筒(角形2号(33×24cm))に入れ、提出期間内に**必着**するように郵送してください。封筒の表に「**博士前期課程(推薦入学特別選抜)出願資格審査申請**」と朱書きしてください。

提出期間	平成31年5月7日(火)～平成31年5月10日(金)
申請書類	出願に要する書類等一覧のNo. 1～3
提出先	〒565-0871 大阪府吹田市山田丘1番5号 大阪大学大学院情報科学研究科 大学院係

但し、やむを得ず持参する場合は、平成31年5月8日(水)～5月10日(金)の9時～16時(11:30～13:00を除く)の期間内に封筒(角形2号(33×24cm))に入れ大学院係へ提出してください。

(4) 出願資格審査の結果通知

出願資格審査の結果は、平成31年5月20日(月)に郵送します。届かない場合は、出願期間に間に合うように大学院係へ問い合わせてください。

5. 出願手続

出願書類は郵送してください。簡易書留郵便を利用し、出願書類等を一括して封筒(角形2号(33×24cm))に入れ、出願期間内に**必着**するように郵送してください。

封筒の表に「**博士前期課程(推薦入学特別選抜)出願書類**」と朱書きしてください。

出願期間	平成31年5月27日(月)～平成31年5月31日(金)	
申請書類	出願資格(1)～(8)	出願に要する書類等一覧のNo. 4～14
	出願資格(9)～(10)で 出願資格審査に合格した者	出願に要する書類等一覧のNo. 4・5 及びNo. 9～14
提出先	〒565-0871 大阪府吹田市山田丘1番5号 大阪大学大学院情報科学研究科 大学院係	

但し、やむを得ず持参する場合は、平成31年5月29日(水)～5月31日(金)の9時～16時(11:30～13:00を除く)の期間内に、封筒(角形2号(33×24cm))に入れ大学院係に提出してください。

受験票は平成31年6月5日(水)に郵送します。6月11日(火)までに届かない場合は、大学院係まで連絡してください。

6. 検定料

30,000 円

支払場所 最寄りの銀行窓口 (ATM (現金自動預払機) は利用しないでください。)

なお、ゆうちょ銀行は利用できません。

支払方法 本研究科所定の振込用紙を用いて指定口座に振り込んでください。

振込手数料は振込者負担です。

銀行から収納印をうけた**検定料振込証明書**を所定用紙に貼付のうえ、提出してください。

もしくは、検定料納付システムを利用し、クレジットカード、コンビニエンスストア、Pay-easy 利用の銀行決済等により検定料を納付することも可能です。詳細は本研究科ホームページ (トップページ/入試情報/平成32年度 (2020年度) 学生募集要項) に掲載の「検定料納付システムによる検定料の納入手続」を参照してください。

なお、国費留学生は、大学院係までお問い合わせください。

7. 選抜方法

選抜は、学力試験及び出身 (在籍) 大学の成績証明書等を総合して行います。

学力試験は、口頭試問により行います。

試験日時	平成31年7月1日 (月)	試験開始時間は、受験票送付時に通知します。
試験場所	受験票送付時に通知します。	
試験科目	情報数理学専攻 コンピュータサイエンス専攻 情報システム工学専攻 情報ネットワーク学専攻 マルチメディア工学専攻 バイオ情報工学専攻	口頭試問 研究希望調書などを参考に行います。

8. 合格者発表

平成31年7月5日 (金) 午後2時から吹田地区の情報科学研究科A棟内1階掲示板において受験番号で発表のうえ、合否通知書を郵送します。

なお、電話・メール等による合否の問い合わせには応じません。

9. 入学時に必要な経費

入学金 …… 282,000 円

授業料 …… 535,800 円 (年額)

入学後、半期分 (267,900 円) ずつ口座振替により納入することとなります。

- (1) 入学金、授業料の額は、平成31年4月現在の額です。これらは改定することがあります。平成32年度の必要経費は、入学手続時までに別途お知らせします。
- (2) 在学中に授業料の改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。
- (3) 入学後、国費留学生として在学する場合は、入学金、授業料は不要です。

10. 個人情報の取扱い

- (1) 出願時に提出された氏名、住所、その他個人情報は、「入学者選抜 (出願処理、選抜試験実施)」、「合格者発表」及び「入学手続」等の入試業務を行うために利用します。

なお、合格者の個人情報（合格発表日以降、入学後に履修可能な教育プログラムを案内するために利用することがあります）。

また、入学者の個人情報は、「教務関係（学籍管理、修学指導）」、「学生支援関係（健康管理、授業料免除・奨学金申請、就職支援等）」及び「授業料収納に関する業務」を行うためにも利用します。

- (2) 入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、入試結果の集計・分析及び入学者選抜方法の調査・研究のために利用します。
- (3) 上記の業務を行うにあたり、一部の業務を外部の業者に委託する場合があります。
この場合、外部の事業者と個人情報の取扱いが適切に行われるよう契約を結んだ上で、当該事業者に対して、提出していただいた個人情報の全部または、一部を提供します。

11. 注意事項

- (1) 障がい等のある者で、受験及び修学に際して特別な配慮を必要とする者は、原則として、平成31年5月10日（金）までに大学院係へ連絡してください。
- (2) 出願書類に不備がある場合は原則として受理しません。
- (3) 出願手続後は、いかなる事情があっても願書等の記載事項の変更は認めません。
- (4) 入学手続は、平成32年3月12日（木）～3月13日（金）に行います。詳細は合格者に対し後日通知します。
- (5) 平成32年3月31日までに入学資格（大阪大学大学院学則第20条）を満たさない者は、入学許可を取り消します。
また、入学願書の履歴、入学資格等につき虚偽の記載をした者は、入学手続後であっても入学の許可を取り消すことがあります。
- (6) 振り込まれた検定料は、次の場合を除き返還しません。
 - ① 出願したが、受験資格がなかった場合
 - ② 出願書類受付期間終了後に書類が到着したため、受理されなかった場合
 - ③ 出願書類に不備があり、受理されなかった場合
 - ④ 検定料を払い込んだが、出願しなかった場合
 - ⑤ 検定料を、誤って二重に振り込んだ場合
 - ⑥ その他、大学が返還を認めた場合上記の場合は、返還請求を行ってください。返還請求の方法は、本研究科会計係までお問い合わせください。

《問い合わせ先》

大阪大学大学院情報科学研究科 会計係
メール: jyuhou-kaikei@office.osaka-u.ac.jp
電話: 06-6879-4506 (直通)

- (7) 情報科学研究科の博士前期課程の入学試験は、当該入学試験の他「一般選抜」「学部3年次学生を対象とする特別選抜」「外国人留学生対象特別選抜」「社会人対象特別選抜（情報基礎数学専攻）」「インフォメーションテクノロジー英語特別コース」があります。
- (8) 不測の事態に伴う入学試験実施への影響と対応につきましては、必要に応じて本研究科ホームページに掲載しますので、必ず確認してください。

12. その他

博士課程教育リーディングプログラムについて

大阪大学には、博士課程教育リーディングプログラムと呼ばれる大学院プログラムがあります。このプログラムでは、研究科における従来の教育・研究活動に加えて、広く社会とのかかわりのなかで展開するコースワークによって、俯瞰力と、社会に生きる獨創性を身につけることにより、国際的に、広く社会で活躍するリーダーとなる人材育成を目指しています。

本研究科の合格者は、下記の博士課程教育リーディングプログラムに応募することができます。詳細は各プログラムのホームページを参照してください。

プログラム名 等		対象となる研究科・専攻等	HP URL 等
超域イノベーション博士課程プログラム	Basic コース・本履修生	文学研究科（文化形態論専攻、文化表現論専攻）、人間科学研究科、法学研究科、経済学研究科、理学研究科、医学系研究科（医学専攻、保健学専攻）、歯学研究科、薬学研究科、工学研究科、基礎工学研究科、言語文化研究科、国際公共政策研究科、情報科学研究科、生命機能研究科	http://www.cbi.osaka-u.ac.jp 本プログラムは1年半のBasicコースとそれに続く3年間（4年制博士課程の場合は2年間）のAdvancedコースから編成されています。Basicコースの履修は1年次の10月からになります。本履修生はAdvancedコースの履修を前提としてBasicコースを履修します。準履修生は、条件を満たせば、Advancedコースに出願することができます。
	Basic コース・準履修生	文学研究科、人間科学研究科、法学研究科、経済学研究科、理学研究科、医学系研究科、歯学研究科、薬学研究科、工学研究科、基礎工学研究科、言語文化研究科、国際公共政策研究科、情報科学研究科、生命機能研究科	
ヒューマンウェアイノベーション博士課程プログラム		情報科学研究科（情報数理学専攻、コンピュータサイエンス専攻、情報システム工学専攻、情報ネットワーク学専攻、マルチメディア工学専攻、バイオ情報工学専攻）、基礎工学研究科（機能創成専攻、システム創成専攻）、生命機能研究科	http://www.humanware.osaka-u.ac.jp

平成31年3月

《問い合わせ先》

大阪大学大学院情報科学研究科 大学院係
 〒565-0871 大阪府吹田市山田丘1番5号
 電話 06-6879-4508・4509（直通）
 E-mail: office@ist.osaka-u.ac.jp
 情報科学研究科ホームページ
 URL: <http://www.ist.osaka-u.ac.jp/>

出願に要する書類等一覧

● 出願資格審査の必要書類

№	書 類	内 容
1	推薦入学特別選抜履歴書	所定の用紙に必要事項を記入してください。
2	成績証明書	最終学歴の成績証明書、又はこれに準ずるもので、教育機関の長が証明したもの
3	研究希望調書	所定の用紙(A4 サイズ2枚以内)に楷書で丁寧に記入してください。(パソコンで記入可)

● 出願時の必要書類

4	大学院入学願書・受験票	<p>入学願書に必要事項を記入してください。</p> <p>受入予定教員に承認印を必ずもらってから出願してください。</p> <p>願書には、原則として戸籍に記載の氏名（外国人の場合は住民票又は旅券に記載の氏名）を記入してください。</p> <p>受験票・写真票にそれぞれ写真を貼付してください。</p> <p>記入の際、消すことができるボールペンは使用しないでください。</p>
5	推薦書	所定の用紙により、志願者の指導教員等の推薦書が必要ですが、やむを得ない場合は、自己推薦でも可能です。但し、本学工学部及び基礎工学部に在籍している者は指導教員の推薦が必要です。
6	研究希望調書	所定の用紙(A4 サイズ2枚以内)に楷書で丁寧に記入してください。(パソコンで記入可)
7	卒業(見込)証明書・成績証明書	出身(在籍)大学長又は学部長が発行したもの
8	学士の学位証明書	(独)大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者のみ提出してください。 なお、(独)大学改革支援・学位授与機構に学士の学位を申請する予定の者は、短期大学長又は高等専門学校校長の学位授与申請(予定)証明書を提出してください。
9	TOEIC あるいは TOEFL の成績	<p>平成29年6月以降の公開テストを受験した成績が有効です。</p> <p>(情報数理工学専攻の志願者) TOEIC あるいは TOEFL の成績があれば、出願時あるいは入学試験日に提出してください。TOEIC あるいは TOEFL のどちらの成績でも可能です。</p> <p>TOEIC の成績 (Official Score Certificate (公式認定証) に限る) あるいは TOEFL の成績 (Test Taker Score Report 又は Examinee Score Report) を提出してください。写しは不可です。入学試験日の再提出を認めます。</p> <p><u>TOEIC 等の成績を入学試験日に提出又は再提出する者は、各試験室において、試験監督者の指示により成績原本を提出してください。</u></p> <p>(コンピュータサイエンス専攻、情報システム工学専攻、情報ネットワーク学専攻、マルチメディア工学専攻、バイオ情報工学専攻の志願者) TOEIC の成績 (Official Score Certificate (公式認定証) に限る) があれば、出願時あるいは入学試験日に提出してください。写しは不可です。入学試験日の再提出を認めます。なお、TOEIC の成績の提出が困難な場合には、TOEFL の成績 (Test Taker Score Report 又は Examinee Score Report) でも提出可能です。</p> <p><u>TOEIC 等の成績を入学試験日に提出又は再提出する者は、各試験室において、試験監督者の指示により成績原本を提出してください。</u></p>
10	住民票又は在留カードの写し 日本語能力についての証明書	<p>日本に在住する外国人の志願者は、市区町村長発行の在留資格及び在留期間を明記した「住民票の写し」又は「在留カードの両面の写し」を提出してください。日本人は提出不要です。</p> <p>*出願者以外の世帯員については、証明不要です。</p> <p>(注) 法務大臣が日本での永住を認めた者は、提出する必要はありません。</p> <p>また、日本語能力についての証明書 (様式随意) も提出してください。但し、日本の大学を卒業した者は提出不要です。</p>
11	国費外国人留学生証明書	国費外国人留学生は提出してください。但し、本学に在籍中の者は提出不要です。
12	検定料振込証明書 又は検定料収納証明書	事前に、検定料 30,000 円を指定口座に振り込みのうえ、検定料納付証明書を所定用紙に貼付してください。検定料納付システムにより納付する場合は、検定料収納証明書を送付してください。

13	封筒（受験票送付用）	封筒（角形2号（33×24 cm））に志願者の住所・氏名を明記し、140円分の切手を貼付してください。
14	発送票	所定用紙を提出してください。

（注）提出書類のうち、日本語・英語以外の証明書、文書、資料等については、日本語又は英語訳を添付してください。